

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 18 日

事務事業名		教育補助員配置事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	020102000193
総合計画の施策名		0201	学校教育の充実				単独/補助	単独	所属課	090801 教育指導課
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり						課長名	
	施策名	01	学校教育の充実						グループ	教育指導グループ
	手段名	02	②教育体制の充実						担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細		一般会計		
	01	10	01	03	01	00		単年度繰返し (平成22年度~)		
法令根拠	桜川市教育補助員配置要綱					教育指導事業		↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	障害のある児童生徒が在籍する小・中・義務教育学校において、学校の円滑な運営を図るため、特に支援が必要な児童生徒を指導する教員を補助するとともに、該当する児童生徒の学校生活を支援する職員を配置する。 教育指導課においては、小・中・義務教育学校に配置する教育補助員について、予算措置を行い、任用事務を行う。	各学校長より申請書を受理。申請書に基づき、該当校の運営状況や児童生徒等の状態を勘案して、配置の可否を決定する。 配置をする場合には、市教育補助員配置要綱に基づき手続きを進める。配置校への通知・教育補助員の配置決定・研修会の開催・学校訪問(教育補助員との面談等の実施)を行う。 各学校からの勤務報告書により報酬等支給明細書を作成し、報酬・費用弁償(通勤費)等の支払事務を行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
各学校長からの申請書をもとに、市教育補助員配置要綱に基づき、配置校への通知・教育補助員の配置決定・研修会の開催等を行う。また、報酬・費用弁償(通勤費)等の支払事務を行う。	教育補助員数	人	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
	配置校 (小中義務教育学校)	校	13.00	13.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
学校生活を送るうえで、特に支援の必要な児童生徒	特に支援の必要な児童生徒数	人	212.00	211.00	211.00	211.00	211.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
教育補助員の配置により、特に支援の必要な児童生徒が安心して学校生活を送ることができる。	教育補助員が配置された児童生徒数	人	212.00	211.00	211.00	211.00	211.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	千円	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
			国庫支出金	0	0	0			
			県支出金	0	0	0			
			地方債	0	0	0			
			使用料・手数料	0	0	0			
			その他	0	0	0			
			一般財源	61,605	81,680	89,305			
			事業費計 (A)	61,605	81,680	89,305			
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	57,894		01 報酬	60,116	
	03 職員手当等	21,383		03 職員手当等	26,624	
	08 旅費	2,403		08 旅費	2,565	
	合計	81,680		合計	89,305	

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	障害のある児童生徒が在籍する小中義務教育学校において、学校の円滑な運営を図るため、特に支援が必要な児童生徒を指導する教員を補助するとともに当該児童生徒の学校生活を支援する教育補助員を配置する。	障害のある児童生徒が在籍する小中義務教育学校において、学校の円滑な運営を図るため、特に支援が必要な児童生徒を指導する教員を補助するとともに当該児童生徒の学校生活を支援する教育補助員を配置する。	障害のある児童生徒が在籍する小中義務教育学校において、学校の円滑な運営を図るため、特に支援が必要な児童生徒を指導する教員を補助するとともに当該児童生徒の学校生活を支援する教育補助員を配置する。

		を記入する。	を記入する。	を記入する。
事務事業名	教育補助員配置事業	事務事業No.	20102000193	所属課 教育指導課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 合併以前に岩瀬地区において実施。学級崩壊の解消対策として県費負担の非常勤講師が配置されたが、次年度の配置がなく、改善されない学級に対し、市単独で補助員を配置した。平成17年4月1日付けで施行された「発達障害者支援法」で、市町村は、その障害の状況に応じ、十分な教育を受けられるようにするため、適切な教育的支援、支援体制の整備等措置を講じることとされた。また、普通交付税においても算入されている。				
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 多くの学校より配置の要望がある。				

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 学校における環境整備は学校教育の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 教育環境の整備は市の責務である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 障害を持った児童生徒は市内13校全てに在籍している。学級等の円滑な運営を図るためには、要望する学校への適切な配置が必要である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 特別な教育的配慮を必要とする児童生徒は年々増加傾向にあるので、廃止した場合は個人の学びや学級が成立しなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 教育補助員の1日当たりの関わる時間の削減が考えられるが、削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 各学校から申請のあった特別な教育的配慮を必要とする児童生徒に教育補助員を配置しているので、妥当である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	特別な支援の必要な児童生徒については、年々、障害の範囲も多様化している。配置する教育補助員の数も増やして体制を整えているが、今後も支援を要する児童生徒は増えることが見込まれるため、次年度においても、特別な支援の必要とする児童生徒にとって、個に応じた支援につながるようにしたい。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 効率的な改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>